

私と伝統芸能 澤近 ^{はるな}春奈さん（愛媛民謡同好会）



◀愛南・宿毛サイクルコネクで「ばら抜き唄」を披露する割ぼう着姿の澤近さん。



“伝統の「音」を次の世代へ”

「三味線や太鼓の音が少しでも鳴ると、自然とワクワクして血が騒ぐんです」。笑顔でそう語るのは、民謡歴39年、三味線歴25年を超える澤近春奈さんです。澤近さんが民謡を始めたのは、年長の頃に祖母に連れられて通い始めた民謡教室がきっかけでした。中学校の部活動などで一時的に離れた時期もありましたが、10代後半で再び民謡の世界へ。それまでは「歌」が中心でしたが、18歳で三味線を手に取ると、その奥深い音色に瞬く間に引き込まれました。「先生がいなければ、今の私はいない」と言い切るほど、恩師・中尾末美先生の存在は大きく、今もその背中を追っています。

澤近さんが何より大切にしているのは、聴くだけでワクワクし、思わず血が騒ぐ地域の音。コロナ禍を経て盆踊りと秋祭りが復活した際は、心から喜びが込み上がったと言います。「先祖代々の供養でもある盆踊りは絶対に絶やしたくない。昔からの流れは一度途切れると、復活させるのは本当に難しいから」そんな強い思いを抱き、今後は地元で伝わる「ばら抜き唄」を記録し、残していく活動にも本格的に取り組もうとしています。まだ発掘されていない地元の民謡を発掘していきたいと熱く語る澤近さんの挑戦は、今まさに始まったばかりです。

「カッコいいねと言ってもらえるように努力をしています」。その言葉どおり、サイクリングイベント『愛南・宿毛サイクルコネク～大自然にもほどがある～2025』ではマイクを通さないアカペラで「ばら抜き唄」を披露し、力強い歌声で観客を圧倒しました。民謡や伝統芸能をより身近に感じてほしいと願う澤近さんは組織という枠にとらわれすぎず、誰もが気軽に飛び込める雰囲気づくりを大切にしています。「私一人の力ではなく、盆踊りや秋祭りなど、身近な行事から若い世代を巻き込んで、みんなで伝統を守っていきたい」と、笑顔で未来を見据えます。中尾先生が教えてくれた「音」の楽しさを、今度は自分が町のみんなへ。伝統を背負う気負いを感じさせないはつらつとした語り口に、愛南の文化が次世代へとつながっていく明るい未来が見えました。

編集後記

「私と〇〇」を初めて担当することになり、真っ先に取材したのが同郷の澤近さんでした。お祭りなどで一緒にしてきた地元のスターを記事にできて光栄でしたが、実は誌面に入りきれないほど書きたいエピソードが山積みでした…！今回初めて聴いた民謡ですが本当にかっこよかったです！私の言葉だけでは伝えきれない澤近さんの情熱と伝統の音を、ぜひ紙面の二次元コードから飛べるYouTube動画をご覧ください！

4月13日に御荘文化センターで行われた南宇和高校の学生寮建設に関する説明会。多くの方が参加していた当日、最前列で熱心に話を聞いていた現役高校生たちの姿がとても印象的でした。彼らの実直な姿勢に関心しながら自分自身の高校生活を回想。友人や先生、地域の方々からたくさんの支えがあったおかげで今があると改めて感じ、ひとりの卒業生として母校への感謝の思いを胸に抱き、今後も紙面作りに励んでいきたいと思っております。

■編集・発行

愛南町役場総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和8年5月1日現在

世帯数	9,661世帯 +12(世帯)
人口	17,845人 (-41人)
男	8,481人 (-13人)
女	9,364人 (-28人)
愛南町の高齢化率	48.4%
※ () 内は前月比	
10年前 同月の人口	22,780人